



ながえさき

# 長江崎遺跡発掘調査速報

## 新発見！田んぼの下に柱穴



©磐田市

昨年の6月から今年の3月にかけて、鎌田地区で道路拡幅に伴う長江崎遺跡の発掘調査を行い、これまで遺跡の存在が知られていなかった範囲の水田から、多くの建物の痕跡が見つかりました。調査の様子を速報でお伝えします。



空からみた長江崎遺跡（平成 29 年 12 月 6 日撮影／南西から）



### 長江崎遺跡とは

太田川平野に面した磐田市鎌田に、長江崎遺跡はあります。遺跡のすぐ北には松林山古墳を代表する国史跡御厨古墳群が広がっています。この地区は、平安時代には伊勢神宮の所領となり、鎌田御厨（伊勢神宮の運営に必要な経費を賄う田畑）と呼ばれました。御厨の地名は現在も残っています。周辺には、野際遺跡、鎌田・鍬影遺跡などがあり、奈良時代～中世の建物跡などの遺構がたくさん見つかっています。

長江崎遺跡は、これまでに 20 回以上の発掘調査が行われ、古墳時代からの集落跡や大溝や中世の館と考えられる建物跡、井戸などが見つかっています。今回の調査では、これまで知られていた長江崎遺跡の範囲の西側を調査しました。





黒いところが  
柱穴です

柱穴がたくさん見つかりました

## 新発見！田んぼの下にも建物跡が

田んぼを 80cm ほど掘り下げた、標高 1~2m あたりに建物跡が数多く残っていました。また、幅 15cm、深さ 6m の谷のような地形も発見されました。現在は田んぼとして利用され、水が湧くような場所にも、人々が生活を営んだ痕跡があることがわかりました。



左：柱の根元

右：柱穴を半分掘った様子  
(黒い部分が柱の痕跡)

今回の調査で 700 基を超える柱穴が見つかりました。柱穴は、地面に穴を掘って直接柱を埋めたもので、掘立柱建物や特別な場所を囲う柱の列(柵)になるものと考えられます。中には、柱の根元が残る柱穴や、柱が朽ちた痕跡が見られる柱穴(写真右)もあります。無数に点在する柱穴も規模や柱穴が立ち並ぶ方向・間隔から、建物の間取りがわかります。

これらの柱穴からは、古墳時代前期の土器が見つかっています。

## 柱穴の跡がいっぱい



1辺が約 1 m の四角い柱穴が  
4つ等間隔に並んでいます

谷の斜面には土器が含まれる黒色土が厚く堆積していました。平安時代から鎌倉時代の土器も多く見つかっており、この時代の土器には、墨で文字が書かれた「墨書」や文字が線描きされた「刻書」もあります。

他にも、ふた、火おこし具、ものさし(?)、下駄などの生活に使われた木製品も見つかっています。

遺跡の全体像や発見された遺物は、今後の整理であきらかにしていきます。



左：発見時のようす 右：古墳時代の壺  
ほぼ完全な形で見つかるのは珍しいです



鎌倉時代の土器  
左：文字が線描きされています  
右：墨で上と書かれています



ふた

ものさし?

火おこし具



下駄 左：表 右：裏





## 文化財課 ニュース

文化財課キャラクター  
ともちゃん

# 広野遺跡発掘調査で発見した 黒曜石と炭化物の謎解明！

平成 28 年度におこなわれた広野遺跡発掘調査で出土した旧石器時代の石器や炭化物の科学分析から、新たに分かったことをご紹介します。

## 平成 28 年度広野遺跡発掘調査とは

平成 28 年度の発掘調査は、豊田東小学校の 300m 北側でおこなわれた調査で、3 基の古墳や、旧石器時代の約 50 基の焼けた礫の集まり（礫群）、約 15 か所の石器製作場跡などを確認しています。現在は、報告書刊行に向けて現地です得たデータや遺物などの整理作業をおこなっています。

## 黒曜石はどこから来た？

発掘区からは、ナイフや槍先などの道具、それらを作る際に出た欠片など約 1,700 点の旧石器時代の石器が出土しました。石材のほとんどは、天竜川で拾うことができるシルト岩ですが、中には凝灰岩や磐田では産出されない黒曜石なども見られます。広野遺跡では、黒曜石が 5 点見つかっており、今回、蛍光 X 線分析法(※)により産地が明らかになりました。

その結果、2 点が伊豆半島東側の柏峠、3 点が長野県の諏訪湖周辺の星ヶ台産のものとわかりました。黒曜石は鋭い割れ口を持ち刃物とするのに非常に適していることから、200km という長距離を経て磐田市周辺にもたらされたと考えられます。

※試料に X 線を照射し発生した蛍光 X 線を分析し産地を推定する方法

## 炭化物の正体とは？

礫群の周囲から見つけた炭化物 4 点の科学分析でも、貴重な成果が得られました。まず、放射線炭素 C14 の特性をいかした測定法(※)で、それぞれの年代が 1 万 6 千年前、1 万 8 千年前、2 点は 2 万 8 千年前の数値が得られました。それにより、礫群は、1 万年以上の長きに渡り使用されていたと考えられます。また、高倍率の顕微鏡観察でこれらの炭化物が広葉樹であるブナ科コナラ属、モクセイ科トネリコ属、ヤナギ科イイギリ属や、針葉樹のマツ科トウヒ属であることがわかりました。遺跡周辺に生育していた様々な樹木が燃料に利用されていたようです。



針葉樹の森

出典：京都文化博物館 1997 年  
『ヒトの来た道』

旧石器時代は別名氷河時代とも呼ばれますが、現在北海道や本州中部の山岳地帯で見られる針葉樹のトウヒ属が今回の分析で見つかったことや、市内高見丘遺跡群でも検出されていることから、磐田市周辺が現在よりも冷涼な気候であったことが推定されます。

※放射性炭素 C14 の数を直接測定する年代測定法。試料中の C12 と C14 の比率を利用し、生物の死滅後に約 5730 年で C14 が半減する性質から年代を推定する。

3/4 いわた文化財だより 第 158 号



黒曜石産地出土位置



黒曜石出土状況（大きさ約 3cm）



## 『国分寺まつり in 遠江』が開催されます！



国分寺としては全国に3か所しかない国の特別史跡のひとつ「遠江国分寺」を広く知ってもらうため、今年も『国分寺まつり』がおこなわれます。

●とき:2018年6月9日(土) ※少雨決行、雨天時は翌日に延期

国司一行参拝行列(磐田駅北口～遠江国分寺史跡公園) 9:30～10:05

国分寺まつりイベント 10:05～16:40

●ところ:遠江国分寺史跡公園(磐田市役所北側)

文化財課では、発掘調査による出土品や、整備計画の概要などを紹介するほか、史跡公園の案内をします。

史跡公園案内:11:00～、13:30～、14:30～

集合場所:文化財課テント(所要約30分)

その他のイベント

国司一行国分寺参拝行列/塔本塑像づくり/もち投げなど

問合せ 文化財課イベント 文化財課:0538-32-9699

国分寺まつり全体 実行委員会:090-9021-1327(今井)

国司一行参拝行列の様子  
(平成28年撮影)



### 職員リレー コラム

## 祝 三代目園舎完成

村松 浩之



大善坊校舎(撮影:昭和41年)



磐田北幼稚園2代目園舎(撮影:昭和42年)



磐田北幼稚園3代目園舎(撮影:平成30年)

私が半世紀余り前に卒園した磐田北幼稚園(当時、磐田北小学校附属幼稚園)が、今春、移設開園した。

私が通園していた頃の園舎は、木造瓦葺(2階建て)で、その建物(大善坊校舎)の歴史を顧みると、明治21年に見付高等小学校として建てられ、明治29年以降は、中遠簡易農学校、磐田郡立実践高等女学校、磐田商業学校などに供された。その後、昭和26年に1階部分を幼稚園として開園し、昭和42年までの長き間、園舎として使用されてきた。2代目は、鉄骨造平屋建てであったが、今春完成した3代目は「自然環境と調和・共生した教育保育施設」というコンセプトのもと温もりのある木造平屋建ての園舎となった。

見付の地で60年以上の歴史を有する磐田北幼稚園、卒園者の一人として、いつまでも在り続けて欲しいと願っている。

編集後記 4月から、市HPに掲載しているWEB版いわた文化財だよりが、PDFデータでの公開になりました。新しくなりましたWEB版もよろしくお祈いします。

発行:磐田市教育委員会事務局教育部  
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)  
住所:〒438-0086 磐田市見付3678-1  
電話:0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。

磐田市 文化財だより

検索



©磐田市